

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス スマイルシード青島			
○保護者評価実施期間	令和8年1月14日		～	令和8年2月10日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	15名	(回答者数)	
○従業者評価実施期間	令和8年1月14日		～	令和8年2月10日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7名	(回答者数)	7名
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年1月14日		～	令和8年2月10日

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・専門職の人員配置により専門的支援の実施を行うことができる。	・心理士や元支援学校の先生の知識、などの視点を活かし、標準化された検査や専門的な評価ツールを用いたアセスメントを定期的実施している。	
2	・保護者からの困り感に対する相談事に対して、迅速な対応を行いスタッフ間での情報共有を図り、支援に活かしている。	・送迎時の会話や連絡帳、相談支援を通じて保護者の「困り感」をキャッチした際、即日の夕礼（または翌日の朝礼）で全スタッフに共有し、その日のうちに具体的な対応策を検討・実行できるように進めている。 ・「様子を見ましょう」で終わらず、「まずは今日からこうしてみます」という具体的なアクションプランを即座に保護者へフィードバックを行っている。	
3	・青島の開放的な海や緑豊かな環境は、子どもたちの心を解きほぐす効果（セラピー効果）があります。環境を変えることで気持ちの切り替えを促し、穏やかな精神状態で活動に取り組めるよう工夫しています。	自然の中で十分に発散・リラックスした後、視覚的な見通しを持って室内活動へ移行することで、着座や課題への集中力が持続するよう「動と静」のメリハリをつけた支援を行っています。	

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会が少ない。		・地域で行われているピーチクリーン活動に参加する、あるいは事業所主催で「ゴミ拾いイベント」を企画し、近隣の児童館や学童クラブにポスターで案内を出す。「奉仕活動」という名目であれば、交流のハードルが下がり、自然な形で地域の子どもたちと活動出来るよう進めて参ります。 ・児童館や公園を利用する際、あえて他の子どもたちがいる時間帯を選び、まずは「挨拶をする」「同じ遊具を譲り合って使う」といった間接的な交流から実績を作る。スタッフが間に入り、地域の子どもにも特性を自然に伝える機会とします。
2	・保護者同士が子育てなどの悩みを話す場や交流する機会がない。		・専門職などが講師となり、30分程度のミニセミナーを実施後、「ご家庭ではどうしていますか？」とグループトークの時間を設けます。 ・祝日に、親子イベントを企画します。子どもたちはスタッフが見守りながら遊び、その横で保護者同士がピクニックシートで交流できるよう設けます。
3			